

2016年度助成募集要項

日本人留学生助成

申込書受付期間：2015年8月3日（月）～8月6日（木）

（厳切厳守）

公益財団法人 KDDI 財団

KDDI Foundation

〒102-8460

東京都千代田区飯田橋3-10-10

ガーデンエアタワー

URL : <http://www.kddi-foundation.or.jp/>

公益財団法人KDDI財団は、国際的視野に立ち社会に貢献する研究への助成・援助を行うことによって、幅広い人々の国際間交流の振興を図り、世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的として、海外に留学を希望する日本在住で日本国籍をもつ学生に対し助成・援助の募集を行います。

1. 申込資格

- (1) 留学する確固とした意志のある者（助成決定の後、就職等で辞退しないこと）
- (2) 日本国籍を有する者（在日外国人、二重国籍、日本永住権を有する者は応募不可）
- (3) 2016年4月1日現在35才以下である者
- (4) 申込時に当財団が推薦を依頼する大学院（以下、「指定校」と表記）に在籍し、日本国内に居住している者（助成時に修了している者も応募可）
- (5) 助成期間中、団体、組織等との間に雇用契約がない者

2. 研究内容

法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において、国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマの研究

*情報通信分野の進歩、発展に貢献するものを優先

*語学留学は対象外

3. 助成・援助の内容

- (1) 対象人数 2名程度
- (2) 対象留学 2016年4月1日以降2017年3月31日までに開始される留学（留学期間は1年以上であること）
- (3) 助成・援助金額 20万円/月 最長2年間（480万円）
学費、渡航費、生活費の一部とすることとし、返済義務は負わない
金額は留学先、研究内容により異なります
- (4) 支払方法 円建で日本国内開設の口座に入金（毎月）
*1ヶ月前倒して支給（留学開始1ヶ月前～留学終了前月まで）
- (5) 留学先 指定なし
- (6) 報告の義務 助成金受給者には、報告書をご提出頂きます。

・1年以上1年半未満の留学：留学終了時に「成果報告書」を提出

・1年半以上2年以下の留学：留学開始1年後に「進捗状況報告書」
留学終了時に「成果報告書」を提出

*報告書のひな形は別途個人宛に送付します。

なお、報告の義務を怠った場合、助成金を返納していただくことがあります。

事務手続

(1) 提出書類

(応募時)

- ① 「2016年度日本人留学生助成申込書」(全5ページ <含 p. 5 「指導教授推薦書」>)
- ② 「在学証明書」
- ③ 「2016年度日本人留学生推薦状推薦状」(学科長もしくは学部長)*別途、申込書 p. 5 の「指導教授推薦書」も提出

*任意提出(必須ではないが、提出が望ましい資料)

I. 研究論文1点(A4サイズで10枚までのもの)

II. 留学先国の公用語習得レベル証明書(例 TOEFL 結果)

*③「2016年度日本人留学生推薦状推薦状」は財団より送付したフォーマットをお使いください。

(留学決定時)

留学先大学の許可証明(遅くとも留学開始1ヶ月前までに提出)

(留学開始後)

留学先大学の在学証明書(留学期間明記)

(2) 申込書送付方法

- ①「2016年度日本人留学生助成申込書」は以下のとおり**2部**作成し、**大学の留学担当窓口様よりご送付願います。(学生様から直接送付された申込書は無効です)**

1部：電子媒体で提出

エクセル形式で③「2016年度日本人留学生推薦状推薦状」(ワード形式)と以下のI、II(任意提出)と共にEメール添付で提出(捺印不要 写真添付不要)

*個人情報に関わると判断されるものには、必ずパスワード2016kddifを設定

*「2016年度日本人留学生助成申込書」左側の「申込書記入要領」のシートを削除の上ご送付願います。

<任意提出>

I. 研究論文(PDFファイル)

II. 留学先国の公用語取得レベル証明書(PDFファイル/パスワード設定)

1部：紙媒体で提出

写真添付、署名の上③「2016年度日本人留学生推薦状推薦状」(公印捺印)、②「在学証明書」を同封の上郵送(宅配可)

*電子メール添付で提出済の論文、公用語取得レベル証明書の郵送は不要

【重要】

紙媒体で提出の申込書は、印字した際、記述内容が所定の枠内、ページ内に収まっていること(教授推薦書含め全5ページ)を確認の上送付願います。(審査に影響します)

(3) 申込書送付先

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋3-10-10
ガーデンエアタワー
公益財団法人 KDDI 財団 助成業務部
E-mail : grant@kddi-foundation.or.jp

(4) 内定

内定は書類審査を経て、2016年1月下旬～2月初旬頃大学の担当者へ通知いたします。
審査の経過及び内容はお知らせできませんので、予めご了承ください。

お問い合わせいただいても回答いたしかねます。

(5) 決定

3月開催の理事会にて決定いたします。

なお、本プログラム指定期間以内に留学を開始できない場合には助成を取り消します。

(6) 助成・援助金等の贈呈

贈呈の詳細については、決定を通知する際お知らせいたします。

(7) その他

助成期間中、当財団との連絡は、各大学の留学担当窓口様を通してお願いいたします。
(在学者、修了者共)

以上

(1) 助成・援助の停止、取消し等

下記事項のいずれかに該当する場合は、助成・援助の停止または取消し、すでに給付した助成・援助金の全額または一部を返納していただく場合もあります。

- ① やむをえない事由(病気等)により研究を継続することが困難であると認められる場合
- ② 虚偽の申告又は記載事項の一方的な変更を行った場合
- ③ 受給資格を喪失した場合
- ④ その他当財団の助成・援助の趣旨に反する事情がある場合

(2) 個人情報の保護と情報の開示について

個人情報については法律および内部規程に則り、適切な取扱いを行います。ただし、対象者の助成情報は原則として公開とし、当財団ホームページおよび当財団で発行する機関誌に掲載します。

*** 審査委員 ***

委員長	森川 博之	東京大学先端科学技術研究センター 教授
委員	加藤 寧	東北大学大学院工学研究科 教授
	眞田 幸俊	慶應義塾大学理工学部電子工学科 教授
	関口 博正	神奈川大学経営学部 教授
	田中 秀幸	東京大学大学院情報学環 教授
	東條 吉純	立教大学法学部国際ビジネス法学科 教授
	戸川 望	早稲田大学基幹理工学部情報工学科 教授
	馬場 俊彦	横浜国立大学工学研究院 教授
	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授
	守倉 正博	京都大学大学院情報学研究科 教授
	湧口 清隆	相模女子大学社会マネジメント学科 教授
	東条 続紀	株式会社 KDDI 総研 代表取締役社長
	渡辺 文夫	株式会社 KDDI 研究所 代表取締役会長

<問合せ先>

grant@kdd-foundation.or.jp 担当 吉田

(Eメールでお願いいたします。電話でのお問合せはご遠慮願います)

以上